

素晴らしいハーモニーを奏でた 合唱コンクールでした！！

7月11日（金）に遺愛アリーナで校内合唱コンクールが開催されました。限られた時間のなかで練習したにもかかわらず、本当に素晴らしい合唱でした。毎朝の礼拝で讃美歌を歌っている効果も間違いなくあります。

中1、高1の課題曲は校歌、中2・中3は讃美歌122番、高2は讃美歌517番、高3は讃美歌338番です。（いずれも1954年版）校歌はこの機会にしっかりと暗譜しますので、学期の節目で校歌を歌うときは、ほとんどの生徒は歌詞を見ないで歌えます。讃美歌も音楽科が歌詞もメロディも心に残るきれいな曲を選んでいるので、生徒にとって遺愛の思い出の曲になります。同窓会で会って歌うようなときにもすぐに各パートに分かれて美しいハーモニーをつくることができます。特に高3の讃美歌338番は、卒業式の時に卒業生だけで歌う讃美歌なので、この機会にしっかりと覚えることができます。

自由曲はクラスの個性がよくあらわれた選曲がなされ、どのクラスも心をこめて歌っていました。審査委員長の函館合唱連盟理事長・大坂吉明先生は「どこのクラスも声がきれい。曲の流れがスムーズで心地よい」とコメントされていました。どの学年もクラス間の格差が小さく全体としてとてもレベルが高い印象でした。



1967年に始まった遺愛の合唱コンクールですが、今年48回目を迎えました。毎年レベルが高く、それが12月のクリスマス礼拝における感動のハレルヤコーラスにつながっていくのだと思います。

2014年7月14日